

提案内容評価表

提案要求事項		要件説明	仕様書	指定様式・提出資料	配点		
A 技術点							
1 業務理解に関する要件							
(1)	業務に対する理解について	<p>○本業務に対する基本的な考え方、実施方針を示すこと。</p> <p>○調達図書類を理解し本市の要求が反映されたものとなっていること。</p> <p>○本市の消防指令業務の特徴、考え方、現行消防通信指令システムの課題等を理解していること。</p> <p>○過去の災害での経験を活かした提案を示すこと。</p>	様式自由	40	A評価	40	
					B評価	32	
					C評価	24	
					D評価	12	
					E評価	0	
2 構築業者に関する要件							
(1)	業務に関する過去の実績	<p>○過去15年以内に元請として本業務と類似した業務の実績があること。</p>	様式8	10	A評価	10	
					B評価	8	
					C評価	6	
					D評価	3	
					E評価	0	
(2)	構築の体制及び役割分担	<p>○本業務を遂行するための責任分担、実施体制について示すこと。</p> <p>○本市、関係組織の役割分担、責任分担について考え方を示すこと。</p> <p>○関係業者（既設設備保守業者等）との連絡調整、役割分担及び責任分担について考え方を示すこと。</p> <p>○業務管理の方針について考え方を示すこと。</p>	第3章 全般	様式自由 ただし、従事予定者の資格、経験等は様式9に記載すること。	20	A評価	20
						B評価	16
						C評価	12
						D評価	6
						E評価	0
(3)	構築スケジュール	<p>○期限までに無理なく確実に新システムの運用を開始できるスケジュールが示されていること。</p> <p>○本業務を確実に円滑に遂行するための手法及び会議体について示すこと。</p>	第1章「履行期間」 第3章 全般	様式自由	20	A評価	20
						B評価	16
						C評価	12
						D評価	6
						E評価	0
(4)	職員向け研修、操作習熟について	<p>○切替稼働前の操作研修について、新システムの操作内容の理解度向上を図るための工夫について示すこと。</p> <p>○切替稼働後の継続的教育について、異動者に対する操作習熟を確実にするための工夫について示すこと。</p> <p>○切替稼働後の継続的教育について、非常事態や障害時の対応を確実にするための工夫について示すこと。</p>	第1章「研修」	様式自由	20	A評価	20
						B評価	16
						C評価	12
						D評価	6
						E評価	0
(5)	地域貢献について	<p>○本市に本社または本店のある企業の活用について実施方針を示すこと。</p>	様式自由	10	A評価	10	
					B評価	8	
					C評価	6	
					D評価	3	
					E評価	0	

提案内容評価表

提案要求事項		要件説明	仕様書	指定様式・提出資料	配点		
3 システム移行に係る要件							
(1)	新システムへの安全な移行について	<p>○現行システムから新システムへの移行を円滑かつ確実にするための工夫について示すこと。 ○構築期間中における消防指令業務への運用影響、制限を最小限とするための工夫を具体的に示すこと。 ○システム移行時における本市、構築業者、関係業者との役割分担、責任分担について示すこと。 ○システム移行時における万一のトラブル発生への対策について具体的に示すこと。</p>	第1章「システムの運用切替」	様式自由	40	A評価	40
						B評価	32
						C評価	24
						D評価	12
						E評価	0
(2)	データ移行について	<p>○現行システムから新システムへのデータ移行手順及び作業内容について具体的に示すこと。 ○データ移行における本市と受託者の役割分担について示すこと。 ○データの完全性を担保するための工夫について具体的に示すこと。</p>	第5章「データ移行要件」	様式自由	20	A評価	20
						B評価	16
						C評価	12
						D評価	6
						E評価	0
4 非機能に係る要件							
(1)	システムの信頼性について	<p>○新システムの信頼性向上対策について示すこと。 ○主要装置に対する冗長化対策について示すこと。 ○データ保全対策について示すこと。</p>	第5章「信頼性要件」	様式自由	20	A評価	20
						B評価	16
						C評価	12
						D評価	6
						E評価	0
(2)	システムの使用性・効率性について	<p>○新システム利用者の心理的負荷を軽減し、直感的かつ円滑な操作を実現するための工夫について示すこと。 ○身体的特性（例：利き手、身体の動き）や習熟度に関わらず、誰もが効率的・直観的に操作できる工夫について示すこと。</p>	第5章「使用性・効率性要件」	様式自由	20	A評価	20
						B評価	16
						C評価	12
						D評価	6
						E評価	0
(3)	システムの拡張性、中立性について	<p>○「消防指令システムの高度化等に向けた検討会」で示されている標準化への対応状況について示すこと。 ○新システムの構成要素ごとに、ハードウェア及びソフトウェア等の考え方について示すこと。 ○汎用的な技術の採用など、他システムとの連携や将来的な新システムの変更・拡張を容易にするための工夫を示すこと。</p>	第5章「拡張性要件」	様式自由	20	A評価	20
						B評価	16
						C評価	12
						D評価	6
						E評価	0
(4)	システムの変更容易性	<p>○法令改正、組織改正や消防車両等の増減、制度改正等に伴う改修について示すこと。 ○指令音声、画面レイアウト等の軽易な変更方法について示すこと。</p>	第5章「使用性・効率性要件」「拡張性要件」	様式自由	20	A評価	20
						B評価	16
						C評価	12
						D評価	6
						E評価	0

提案内容評価表

提案要求事項		要件説明	仕様書	指定様式・提出資料	配点			
5	(5)	AI（人工知能）活用及びDXの推進について	○消防業務におけるAI活用及びDXの推進について考え方を示すこと。 ○AI技術の活用による、消防業務全体の高度化・効率化、および市民サービスの向上に資する具体的な考えを示すこと。 ○ODX化により見込まれる効果（業務効率化による消防サービスの向上、住民の利便性の向上等）について考えを示すこと。 ○ODXを推進し、業務プロセスや組織文化の変革を支援するための具体的な考えを示すこと。 ○本業務において実現可能な機能について示すこと。 ○将来的な発展性について示すこと。	第5章「拡張性要件」	様式自由	80	A評価	80
						B評価	64	
						C評価	48	
						D評価	24	
5	(6)	維持管理費の低廉化について	○運用・保守に係る費用を低廉化するための工夫について示すこと。 ○有償交換部品や中間更新機器の内容及び費用について示すこと。 ○外部サービスを利用するものにあつては、その費用を低廉化するための対策について具体的に示すこと。 ○新システムの運用上必要な費用やサービス利用料等の固定的維持管理費用等について、低減するための工夫について示すこと。 ○必要な性能を担保したうえで機器の集約化や耐用年数の長い製品の導入等により得られる費用削減効果について示すこと。	第5章「経済性要件」、第6章「ネットワーク装置」「無線系ネットワーク設備」	様式自由 ただし、中間更新費用の内訳は、様式10に記載すること。	40	A評価	40
						B評価	32	
						C評価	24	
						D評価	12	
						E評価	0	
5	(7)	システムセキュリティについて	○本市のセキュリティポリシーに基づいたセキュリティ対策について示すこと。 ○新システムのリスク分析・評価を行う手法について示すこと。 ○主に閉域網で構成されることを考慮したセキュリティ対策について示すこと。 ○不正利用対策、情報漏洩対策について、具体的な考え方を示すこと。 ○ログの取得、解析、保管期間、改ざん防止等の管理方法について具体的に示すこと。 ○OSのバージョンアップが必要となる装置を整理し、それに追従するための方法について示すこと。また、OSのバージョンアップへ追従する必要がない装置については、その論拠について示すこと。 ○ファームウェア等のバージョンアップについて考え方を示すこと。	第5章「セキュリティ要件」第6章「セキュリティ装置」	様式自由	20	A評価	20
						B評価	16	
						C評価	12	
						D評価	6	
						E評価	0	
5	(8)	システムの性能について	○仕様書記載の瞬時負荷処理能力について示すこと。 ○性能を保証するための方針について示すこと。 ○輻輳時等の負荷の高い処理を行っている最中の動作について示すこと。	第5章「性能要件」	様式自由 ただし、瞬時負荷処理能力は様式11に記載すること。	10	A評価	10
						B評価	8	
						C評価	6	
						D評価	3	
						E評価	0	
5 機能に係る要件								
5	(1)	機能の実現について	○本市が示す機能要件について、実現するための方法を「様式11 機能実現証明書」に記入し回答すること。	第6章 全般	様式12	20	A評価	20
						B評価	16	
						C評価	12	
						D評価	6	
						E評価	0	

提案内容評価表

提案要求事項		要件説明	仕様書	指定様式・提出資料	配点			
	(2)	消防指令業務の操作性、確実性について	○通報受付から事案終了までの基本的な消防指令業務の一連操作について示すこと。 ○操作性向上に係る工夫を示すこと。 ○入力ミス、操作ミスを抑制する仕組みを示すこと。また、万一の入力ミス、操作ミスが発生した場合のリカバリ方法を示すこと。 ○消防車両等の動態を容易に把握できる仕組みであること。 ○輻輳時においても平常時と同等に処理できる仕組みを示すこと。 ○出動選別における「車種」「小隊種別」を考慮した車両選別機能の実現方法を示すこと。 ○その他、安全・確実に消防指令業務が遂行できる工夫を示すこと。	第6章「指令装置」	様式自由	80	A評価	80
							B評価	64
							C評価	48
							D評価	24
							E評価	0
	(3)	消防指令業務の迅速性と負担軽減策について	○入電から指令までの時間短縮及び手順の簡素化のための工夫を示すこと。 ○消防指令業務全般における効率化・省力化等に関する工夫を示すこと。 ○出動車両が未出動時の対応機能及び指令台への注意喚起方法について示すこと。 ○早期に災害地点を特定するための工夫を示すこと。 ○その他、迅速・効率的に消防指令業務が遂行できる工夫を示すこと。	第6章「指令装置」	様式自由	80	A評価	80
							B評価	64
							C評価	48
							D評価	24
							E評価	0
	(4)	現場活動時における省力化について	○現場活動の省力化を図るための工夫を示すこと。 ○消防指令システム、消防業務システムが保有する情報を現場活動時に活用するための工夫を示すこと。 ○現場活動時における、指令センター及び各署所との円滑な情報共有を図るための工夫を示すこと。 ○指令書の代替措置について示すこと。	第6章「車両運用端末装置」、「指揮支援システム」	様式自由	40	A評価	40
							B評価	32
							C評価	24
							D評価	12
							E評価	0
	(5)	消防業務システムについて	○機能仕様要件に定める機能が充足されていること。 ○LGWANとの接続を踏まえた構成について示すこと。 ○業務効率の向上を図る方法について示すこと。 ○各サブシステム間で入力内容、記載内容等を整合する方法を示すこと。 ○消防指令システムとの相互連携による消防指令業務の強化について示すこと。 ○消防活動現場において迅速かつ確実に必要な情報を利用するための機能について示すこと。 ○クラウド利用の場合の仕様について示すこと。 ○タブレットの活用方法について示すこと。 ○立入検査の電子化等、市民及び職員双方の利便性向上に資する方法について示すこと。	第6章「消防業務システム」	様式自由	80	A評価	80
							B評価	64
							C評価	48
							D評価	24
							E評価	0
	(6)	大型表示システムについて	○機能仕様要件に定める機能が充足されていること。 ○大型表示システムの機器構成について示すこと。 ○視認性に優れた表示方式に示すこと。 ○保守費用の低廉化を図るための工夫について示すこと。 ○指令センターが保有する各種映像情報を関係各所と共有できる仕組みについて示すこと。	第6章「大型表示システム」「映像制御装置」	様式自由	20	A評価	20
							B評価	16
							C評価	12
							D評価	6
							E評価	0

提案内容評価表

提案要求事項		要件説明	仕様書	指定様式・提出資料	配点			
6	(7)	業務継続について	<p>○途切れさせない119番通報のための工夫等のシステム冗長性について示すこと。 ○大規模災害時における消防指令業務への影響について示すこと。 また、それを最小限とする工夫を示すこと。 ○地震・台風・大雨災害等での同時多発災害において、消防局、各署所、現場、関係機関との間で必要な情報を活用できる工夫について示すこと。 ○大規模災害や特殊災害による消防指令システム運用困難時の対策について示すこと。</p>	第5章「継続性要件」 第6章「非常用受付設備（バックアップ設備）」	様式自由	80	A評価	80
							B評価	64
							C評価	48
							D評価	24
							E評価	0
	(8)	消防団情報の活用について	<p>○機能仕様要件に定める機能が充足されていること。 ○消防指令システムとの情報連携について示すこと。 ○消防業務システムとの情報連携について示すこと。</p>	第6章「消防団情報システム」	様式自由	40	A評価	40
							B評価	32
							C評価	24
							D評価	12
							E評価	0
(9)	無線設備について	<p>○機能仕様要件に定める機能が充足されていること。 ○無線基地局における避雷、停電対策について示すこと。 ○消防指令システムとの連携について示すこと。</p>	第6章「基地局設備」	様式自由	80	A評価	80	
						B評価	64	
						C評価	48	
						D評価	24	
						E評価	0	
(10)	ネットワーク構成について	<p>○ネットワークの強靱化を図るための工夫について示すこと。 ○通信費用を低廉化するための工夫について示すこと。</p>	第6章「ネットワーク装置」「無線系ネットワーク設備」	様式自由	40	A評価	40	
						B評価	32	
						C評価	24	
						D評価	12	
						E評価	0	
6 運用・保守に係る要件								
(1)	運用保守体制について	<p>○消防指令業務の緊急性及び重要性を理解し、恒常的な保守体制の維持に関する考え方を示すこと。 ○24時間365日の運用を考慮した平常時の保守運用体制について示すこと。また、体制の確保について考え方を示すこと。 ○サービスレベル及びその論拠について示すこと。 ○年度ごとに必要となる交換部品等を提示し、部品確保のための方針、体制を示すこと。 ○関連する他システムとの連携と責任分界点の考え方について示すこと。 ○本市と保守業者の役割分担を示すこと。</p>	第8章	様式自由 ただし、サービスレベルは様式13に記載すること。	40	A評価	40	
						B評価	32	
						C評価	24	
						D評価	12	
						E評価	0	

提案内容評価表

提案要求事項		要件説明	仕様書	指定様式・提出資料	配点			
	(2)	障害復旧対応について	<p>○消防指令業務の緊急性及び重要性を理解し、障害復旧対応に関する考え方を示すこと。 ○障害発生時の具体的な対応策について示すこと。 ○障害発生時に影響を最小限にとどめるための工夫について示すこと。 ○原因究明及び再発防止策を講じるための対応方針について示すこと。 ○障害発生後の原因究明、根本原因分析、および再発防止策の策定・実施に関する具体的なプロセスを示すこと。 ○発生した障害やその解決策について、簡単な問題であれば指令員や本市職員が自己解決できるような対応策について示すこと。</p>	第8章	様式自由	40	A評価	40
							B評価	32
							C評価	24
							D評価	12
							E評価	0
(3)	保守費用について	○新システムの1年あたりの保守費用を見積もること。	第8章	様式14	40	—	—	
7 自由提案								
	(1)	自由提案	<p>・調達図書記載外のことについて、有用な提案があれば示すこと。 (最大3件までとする。)</p>		様式自由	10	A評価	10
							B評価	8
							C評価	6
							D評価	3
							E評価	0
B 価格点								
1 価格点								
(1)	構築費用	○新システムの構築に係るすべての費用を見積もること。		様式5 (内訳は、様式15に記載すること。)	200	—	—	

点数

①技術点の合計	1100
②価格点の合計	200
③全合計	1300